

## 内科

## 内視鏡とAIについて

2023年は生成AIが大きく普及しましたが、医学の世界、特にCTやMRI、エコーなどの画像診断の分野でも、ディープラーニング技術の存在意義が高まってきています。消化管の内視鏡では、検査を行う医師のレベルにより病変を見落とす可能性に差が出ることは避けられません。画像の中に

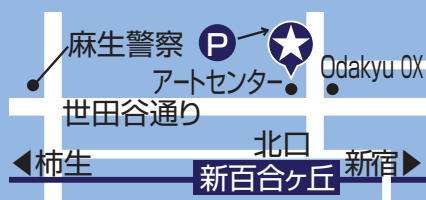
腫瘍性病変が存在しているかどうかを診断するAIを用いた研究が進み、国立がん研究センターの発表では、大腸内視鏡の場合、感度（正しく病変を検出する力）83%、特異度（病変がないことを正しく判定する力）89%という評価が報告されています。

ただ、大腸検査の場合、残留した腸管洗浄液の中やヒダにかくれた場所などに病変がある場合はAIでも病変を指摘することはできないため、正しい観察の技術を持った医師による丁寧な検査が必要であることはいまでもありません。



■ 内科  
新百合山手福本内科

福本 学



☎044-955-8877  
麻生区万福寺6-7-2  
メディカルモリノビル2F  
<http://www.fukumotonaika.jp/>